

仕上げへの干渉が少ない
フラットな CFRP プレート用定着体

e-アンカー

CFRPプレート補強の端部定着に用いる定着体です。
e-アンカーをCFRPプレートに接着することで、
適切にCFRPプレートの定着を図ることが可能です。
独自製法によりCFRPプレート的一端を繊維とした
状態にしています。繊維状態のストランド部は柔
軟性があり、施工時の角度調整を容易に行うことが
出来ます。

特長

▶ 現場調節が容易

柔軟なストランド部により、穿孔角度のずれに追従することができ、容易な施工を実現。

▶ 仕上げへの干渉が少ない

厚さ 3 mm の定着体のため、CFRP プレートの定着の場合、施工後の厚さを 10 mm 程度に抑えることが可能。

▶ 重量増加がなく、高耐久性

- ・ 鋼材を使用しないため、重量増加の心配がない。
- ・ 耐久性の高い CFRP プレートで構成される。また、鋼材を使用しないため、鋼材腐食に伴う錆汁による汚損等の心配が少ない。



e-アンカー
端部

仕様

繊維状の部分を束ねて
コンクリートに挿入

厚さ：3 mm
使用繊維：高強度タイプ



ストランド部

プレート部

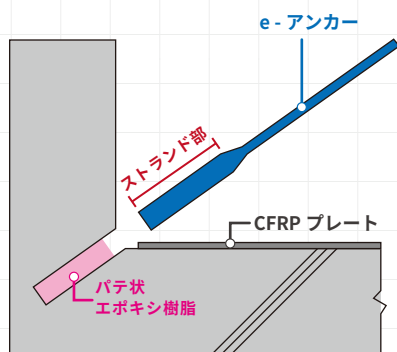


CFRP プレートによる梁・スラブの 曲げ補強工法「e プレート工法」とは

CFRP プレートを粘着性の高いパテ状エポキシ樹脂接着剤を用いて、既存の梁やスラブに貼り付けることで、曲げ強度や曲げ剛性を向上させる曲げ補強工法です。建築物の用途変更（コンバージョン）に伴う重量増加等に対して最適な工法です。工場で成形した CFRP プレートを接着剤で貼り付けるだけなので、施工が容易であり、工期の短縮を図ることが可能です。



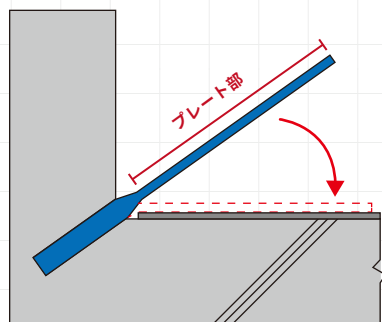
▼ 施工手順



01

ストランド部の挿入

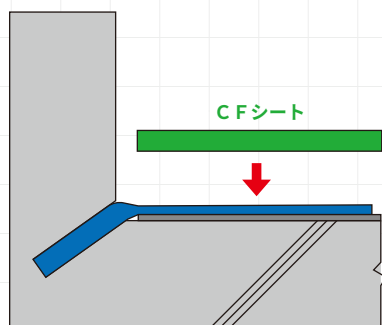
樹脂を含浸させたストランド部を躯体に開けた孔内に挿入します。
孔内には予めパテ状エポキシ樹脂を充填しておきます。



02

プレート部の貼付

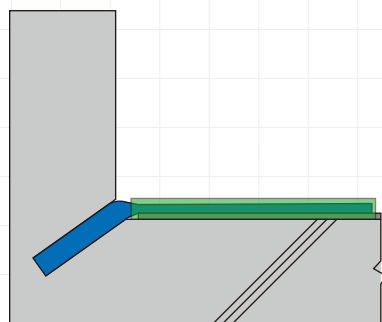
プレート部にパテ状エポキシ樹脂を塗布し、CFRP プレートに圧着します。



03

CF シート貼付

e-アンカーの上からCFシートを貼付けて、剥離を防止します。

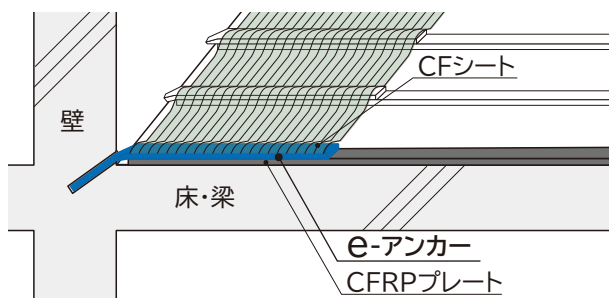


04

施工完了

CFシートを下貼りする仕様も可能です。

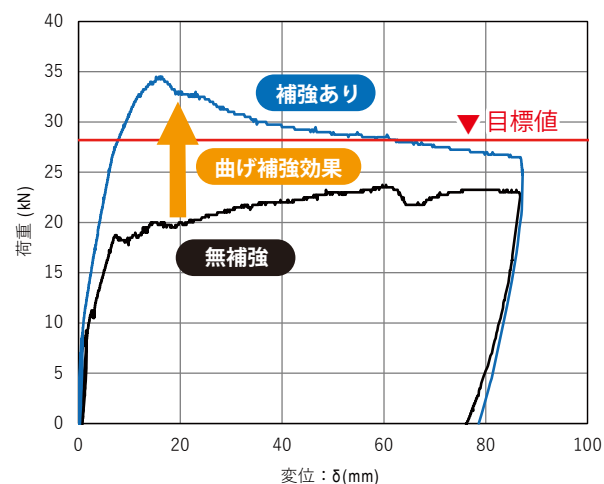
全体イメージ



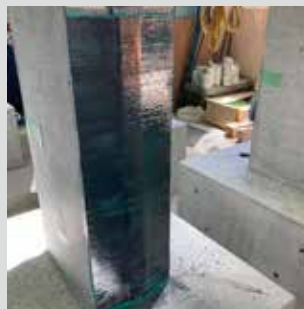
定着性能試験

eプレートの端部をe-アンカーにより定着することで、必要付着長さを確保した場合と同等の定着効果が得られることを実験により確認しています。
e-アンカーを用いることで、eプレート工法の曲げ補強効果を確保することが可能です。

▼ 試験結果（荷重－変位関係）



▼ 施工状況



▼ 試験状況



正しい診断・たしかな施工

株式会社 **コンステック**



コンステックは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

URL <https://www.constec.co.jp>

Mail info@constec.co.jp



ホームページ